

令和6年度 園関係者（評議員）からの評価

学校法人 海山学園 認定こども園

追分幼稚園附属追分ベビー園

1 本園の教育目標

- 自ら生き生きと活動する子の育成
- 感じたこと、考えたことを素直に表現する子の育成

2 目指す子供像

- | | |
|-------------------------|----------|
| ・健康で明るい子ども | 〈 健康 〉 |
| ・自分で考え、自ら行動し、やり抜く子ども | 〈 主体性 〉 |
| ・感じたこと、考えたことを素直に表現する子ども | 〈 表現力 〉 |
| ・友達と遊び、思いやりのある子ども | 〈 思いやり 〉 |

3 本年度の重点目標、計画

- (1) 安全、安心な教育環境の整備、充実
- (2) (新) 幼稚園教育要領、保育指針の主旨を活かした教育・保育活動の充実
- (3) 開かれた園経営と組織的な対応の充実

4 評価項目の達成及び取り組み状況

A 十分に成果があった B 成果があった C 成果が少なかった D 成果がなかった

	評価項目	評価	取り組み状況
1	安心・安全な教育環境を整備する	A	定期的に全職員で安全点検と安全会議を行い、保護者からの要望も取り入れ検討し、優先順位をつけ修繕・整備を進めた。警察署や消防署と連携し有事に備え避難訓練を重ねた。
2	教育・保育の質を高めるために効果的に園内研修する	B	県私幼連合会や潟上市の研究会等に参加しそのテーマに基づいた園内研修を行い自園の保育を振り返った。また公開保育を行い評価してもらったり他園の公開保育に参加するなどし教育・保育の質の向上を図った。
3	一貫した指導ができるよう園内連携体制を整備する	A	0歳～5歳までの継続・連続した教育・保育を充実させるため、行事や遊びの環境を共有できるよう「育ちの全体計画」にそって保育を計画し、年度末ごとに見直しを図り教職員で共通理解するよう話し合いをすすめてきた。

5 総合的な評価結果

評価	理由
B	昨年度以上に分掌等の組織を活かしあわせに協力し合うことで連携の意識も高まってきた。教職員ひとりひとりが自分の考えを表し、目の前の子どもたちのためにどのように保育したいのかを伝え合いながら進めていくことで、質の高い教育・保育を目指す意欲も高まってきた。

6 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	安全管理	警察署や消防署などの外部組織と連携して有事を想定し避難訓練を繰り返し行ってきたが改善点や不安は多く、ハード面だけでなく職員の意識も含めさらに検討・改善を進めていく必要がある。
2	組織見直し	教職員が幼稚園側とベビー園側のどちらのこともより理解を深めるために人事を行い、0歳～5歳までの継続・連続した教育保育の更なる充実と、円滑な分掌部の機能化を図っていく。
3	研修	6月末の公開保育を毎年位置づけ振り返りを行い、教育・保育の質の向上を図る。キャリアアップ研修の機会を増やし、潟上市内の保育施設の公開保育や研修会に積極的に参加し、園全体のレベルアップを目指す。

7 園関係者評価委員（評議員）の方々からの意見

- ・保護者アンケートの結果から、前回よりも一定の評価が上がっており、うれしく感じた
- ・教職員の自己評価の結果から、よりよい教育、保育に努めようとする意欲が感じられた
- ・安全管理については、様々な面からの事故、危険を回避できるようさらに留意し命の安全を守ってほしい

【学校評価の流れ】

- 4月 職員会議で職員に評価項目を提示
- 5月 園関係者評価委員（評議員）に評価項目を提示
- 7月 公開保育（参加者にアンケートを依頼〔職員に公開〕）
- 9月 保護者・職員にアンケートを実施
- 12月 職員会議に取組状況を報告し、今後取り組む事項等を協議・検討
- 3月 評議員会で園経営の評価を実施
- 4月 評価の結果をホームページで公表